

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【公開番号】特開2016-8707(P2016-8707A)

【公開日】平成28年1月18日 (2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-004

【出願番号】特願2014-131790(P2014-131790)

【国際特許分類】

F 1 6 K 31/06 (2006.01)

F 1 6 K 11/048 (2006.01)

F 1 6 K 11/18 (2006.01)

F 1 6 K 31/40 (2006.01)

F 1 6 K 31/42 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 31/06 3 0 5 L

F 1 6 K 11/048 Z

F 1 6 K 11/18 Z

F 1 6 K 31/40 A

F 1 6 K 31/42 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月13日 (2017.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

大径摺動部 7 c の外周面に設けられた環状溝にはテフロン（登録商標）等の合成樹脂製のピストンリング 2 3 が装着されており、この大径摺動部 7 c は、外周面が摺動面 1 0 e c に摺接しながら縦方向（上下方向）へ移動するようになっている。また、第 2 弁体 7 を下方（第 2 弁口 4 a の閉弁方向）に付勢すべく、大径摺動部 7 c の円筒状空所からなるばね受け穴 7 i の底面（底部 7 g の上面）と蓋部材 1 1 a の下面に設けられた凹状のばね受け穴 1 1 a a の上面との間にコイルばね 1 2 a が縮装されている。また、大径摺動部 7 c の上端部に設けられた縮径部 7 k が、蓋部材 1 1 a の底面（ばね受け穴 1 1 a a の外側に位置する底面）と接当して第 2 弁体 7 の上方移動限界を定めるストッパとされており、その縮径部 7 k には、当該縮径部 7 k が蓋部材 1 1 a の底面と接当した際にばね受け穴 7 i 内の圧力をその外部（すなわち、導通穴 2 k 側）へ逃がすべく、周方向に複数の逃がし穴 7 m が設けられている。更に、大径摺動部 7 c の底部 7 g には、第 2 弁体 7 の下側（第 2 弁座 4 側）に形成される流出室 2 e a と上側（第 2 弁座 4 側とは反対側）に形成される背圧室 2 e b を連通する縦穴からなる連通路 7 b が形成されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

この電磁式アクチュエータ 3 0 は、主に、段付き縦穴 1 0 d の上端開口を塞ぐように当該上端開口に螺合される吸引子 1 6、吸引子 1 6 の上端部を覆うように当該上端部に固着

された天井部付き円筒状部材からなるパイプ 2 1、パイプ 2 1 の内側に昇降自在に配在された底部付き円筒状部材からなるブランジャ 1 3、ブランジャ 1 3 に一体的に取り付けられると共に下端部に弁体 1 5 a が設けられた弁ホルダ 1 5、ブランジャ 1 3 を上方に付勢するコイルばね 1 9、パイプ 2 1 に外挿固定されたボビン 2 7、ボビン 2 7 の外側に配在された通電励磁用の電磁コイル 1 4 a からなる電磁コイル組立体 1 4、及び、ボビン 2 7 及び電磁コイル組立体 1 4 の外側を覆うように配在されたケース 2 8 を備えている。

【手続補正 3】

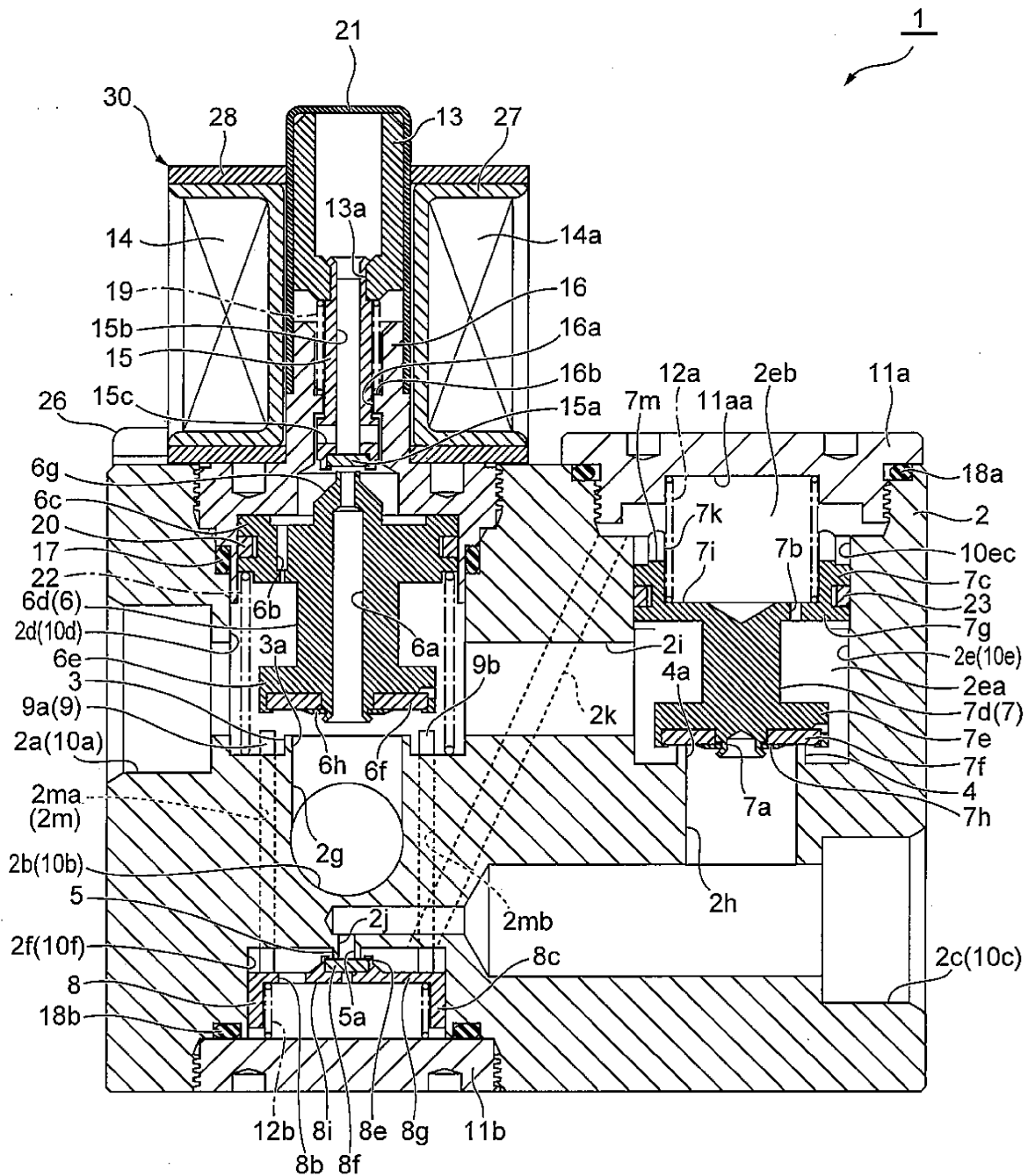
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

